

# 平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年5月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 IMV株式会社  
 コード番号 7760 URL <http://www.imv.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 岡本 二郎  
 (氏名) 桂井 徹

TEL 06-6478-2565

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	1,934	△29.8	148	31.1	146	30.8	101	287.5
21年9月期第2四半期	2,755	△17.1	113	△31.2	111	△36.4	26	△68.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	6.24	—
21年9月期第2四半期	1.61	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	6,668	2,003	30.0	122.56
21年9月期	6,850	1,912	27.9	117.00

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 2,003百万円 21年9月期 1,912百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	1.00	1.00
22年9月期	—	0.00	—	—	—
22年9月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,175	0.4	170	—	130	—	130	—	7.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
 ② ①以外の変更 有
- (注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第2四半期	16,957,016株	21年9月期	16,957,016株
② 期末自己株式数	22年9月期第2四半期	611,952株	21年9月期	610,632株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年9月期第2四半期	16,345,582株	21年9月期第2四半期	16,347,706株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ・定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的な景気後退の影響からいち早く回復を見せつつあるアジアを中心とした海外新興国からの需要増加や、政府の景気対策などを背景とした持ち直しの動きが一部においてみられたものの、不安定な雇用情勢や個人消費の落ち込みが続き、依然として先行きの不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、急激な環境変化に対応するため「経営の安全性」と「近未来の基盤作り」を重点志向しており、固定費の削減を継続するとともに、新たな事業基盤を確立するため、新製品の開発と他社との協業を推進いたしました。新製品の開発としましては、需要が高まっているリチウムイオン電池向けの検査装置を発売いたしました。一方協業の面では、GEエナジー・ジャパン株式会社やデンマークのブリュエル・ケア社と業務提携契約を締結しており、新たな品揃えや販売チャネルを強化いたしました。また、開発力の強化を目的に、電子機器の開発受託を行う株式会社データ・テクノを連結子会社化いたしました。

既存事業では、前連結会計年度に開設した鉄道車両用機器向けのテストラボが好調であったことに加え、振動シミュレーションシステムにおいて韓国向けの輸出が伸びたことにより、受注高は前年同四半期を上回りましたが、建設機械向けの大型案件の計上が少なかったこともあり、売上高につきましては前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は1,934百万円となり、前年同四半期と比べ821百万円の減収(対前年同四半期比29.8%減)となりました。利益面では、固定費の削減効果や限界利益率の改善もあり、経常利益は146百万円となり前年同四半期と比べ34百万円の増益(対前年同四半期比30.8%増)となりました。また、早期希望退職者の募集による早期割増退職金を計上しましたが、四半期純利益は101百万円となり前年同四半期と比べ75百万円の増益(対前年同四半期比287.5%増)となりました。

事業部門別の営業の概況は次のとおりであります。

## (振動シミュレーションシステム)

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、欧州最大の振動シミュレーションシステムメーカーLDS社の親会社であるブリュエル・ケア社と業務提携契約を締結しました。これにより、当社の多軸製品をLDS社の販売チャネルでグローバルに拡販をするとともに、LDS社が得意とする大型振動シミュレーションシステムを当社が日本国内で販売することが可能となり、市場の拡大と製品ラインナップの強化を図ることができました。また、前連結会計年度に発売した省エネ型振動シミュレーションシステム「エコシェーカー」シリーズにおいて、発売当初未対応であった水冷型の大型システムを開発し、納入いたしました。既存製品では、韓国向けの輸出が好調に推移したほか、国内におきましても自動車関連業界を中心に設備投資に回復の兆しが見られ、受注は増加に転じておりますが、前年同四半期に計上された建設機械向けシステムの様な大型案件の計上が少なかったことにより、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、この事業の売上高は1,148百万円となり前年同四半期と比べ862百万円の減収(対前年同四半期比42.9%減)となりました。

## (メジャリングシステム)

メジャリングシステム分野におきましては、製品ラインナップの拡大にむけて、設備状態監視システム分野において世界的なシェアを誇るGEブランド：Bentley Nevada(ベントリーネバダ)製品の販売等に係る業務契約を、GEエナジー・ジャパン株式会社と締結いたしました。また、製品開発においては、需要が高まるリチウムイオン電池向けの検査装置を開発しリリースしたほか、風力発電機向け振動監視装置や太陽光パネル向けテスターといった新規性の高いアイテムの開発に注力いたしました。既存製品では、海外向けを中心に携帯型振動計の需要が戻りつつありますが、大型製品を中心に市場の回復には依然として時間を要しており、前年同四半期を下回る受注高、売上高となりました。

以上の結果、この事業の売上高は430百万円となり前年同四半期と比べ7百万円の減収(対前年同四半期比1.8%減)となりました。

## (テスト&amp;ソリューションサービス)

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、国内鉄道関連産業の活況を受けて、新設した鉄道車両機器向け受託試験施設が好調であったほか、自動車関連分野では電気自動車関連の試験が増加しており、四半期としては過去最高の受注高、売上高となりました。

以上の結果、この事業の売上高は355百万円となり前年同四半期と比べ47百万円の増収(対前年同四半期比15.6%増)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ181百万円減少し、6,668百万円となりました。流動資産では、前連結会計年度末と比べ29百万円減少し、3,273百万円となりました。この主な要因は現金及び預金の増加112百万円、仕掛品の増加10百万円、原材料の増加26百万円及び繰延税金資産の増加15百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少25百万円、製品の減少95百万円、未収還付法人税等の減少70百万円及び未収消費税等の減少9百万円があったことによるものであります。固定資産では、前連結会計年度末と比べ151百万円減少し、3,395百万円となりました。この主な要因は、減価償却費・減損損失等による有形固定資産の減少111百万円があったことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ272百万円減少し、4,665百万円となりました。流動負債では、前連結会計年度末と比べ46百万円減少し、3,314百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金の増加51百万円、未払金の増加45百万円及び未払消費税等の増加23百万円があったものの、短期借入金の減少164百万円があったことによるものであります。固定負債では、前連結会計年度末と比べ225百万円減少し、1,350百万円となりました。この主な要因は長期借入金の減少182百万円及び社債の減少50百万円があったことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ90百万円増加し、2,003百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の増加85百万円及びその他有価証券評価差額金の増加5百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.1ポイント増加し30.0%となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末の117円00銭に対し、122円56銭となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結会計期間は予想を上回る利益となりましたが、第3四半期連結会計期間以降は給与削減幅の見直し等による固定費の増加や、研究開発活動の強化等を予定しており、費用は第2四半期連結会計期間と比較して増加する見込みです。よって、平成21年11月13日に公表いたしました平成21年9月期決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
(表示方法の変更)

## (四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結累計期間において、営業外収益「雑収入」に含めて表示しておりました「助成金収入」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。

なお、前第2四半期連結累計期間における「助成金収入」の金額は、555千円であります。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、投資活動によるキャッシュ・フロー「その他」に含めて表示しておりました「保険積立金の解約による収入」は、重要性が増加したため区分掲記しました。

なお、前第2四半期連結累計期間における「保険積立金の解約による収入」の金額は、1,653千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	991,096	878,335
受取手形及び売掛金	1,482,907	1,508,661
有価証券	20,163	18,812
製品	20,264	115,650
仕掛品	426,289	415,311
原材料	204,689	177,890
未収還付法人税等	—	70,048
未収消費税等	—	9,004
繰延税金資産	90,822	75,325
その他	38,522	35,659
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	3,273,755	3,303,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,130,012	1,183,846
土地	1,736,243	1,751,339
その他(純額)	255,562	297,758
有形固定資産合計	3,121,818	3,232,944
無形固定資産	65,379	59,903
投資その他の資産		
その他	207,845	254,313
貸倒引当金	—	△214
投資その他の資産合計	207,845	254,099
固定資産合計	3,395,044	3,546,946
資産合計	6,668,799	6,850,646
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	548,850	497,282
短期借入金	1,766,000	1,930,000
1年内返済予定の長期借入金	559,414	559,390
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金	119,893	74,120
未払費用	137,339	144,540
未払法人税等	6,361	—
製品保証引当金	41,000	44,000
その他	35,729	12,027
流動負債合計	3,314,588	3,361,360
固定負債		
社債	—	50,000
長期借入金	1,011,932	1,194,326
繰延税金負債	68,282	51,794
長期未払金	256,188	267,093
その他	14,500	13,500
固定負債合計	1,350,902	1,576,713
負債合計	4,665,491	4,938,074

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	1,084,161	998,579
自己株式	△109,328	△109,172
株主資本合計	1,997,213	1,911,787
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,095	784
評価・換算差額等合計	6,095	784
純資産合計	2,003,308	1,912,572
負債純資産合計	6,668,799	6,850,646

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	2,755,985	1,934,008
売上原価	2,071,181	1,301,256
売上総利益	684,803	632,751
販売費及び一般管理費	571,782	484,565
営業利益	113,020	148,185
営業外収益		
受取利息	1,112	1,179
受取配当金	349	205
有価証券評価益	—	2,011
受取賃貸料	50,656	617
助成金収入	—	12,010
雑収入	14,866	11,890
営業外収益合計	66,984	27,915
営業外費用		
支払利息	20,903	21,970
有価証券評価損	23,070	—
賃貸収入原価	4,390	372
コミットメントフィー	10,000	—
雑損失	9,937	7,640
営業外費用合計	68,302	29,983
経常利益	111,703	146,117
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	123
保険解約返戻金	—	5,206
特別利益合計	—	5,330
特別損失		
たな卸資産評価損	21,835	—
固定資産除却損	9,937	55
投資有価証券評価損	7,618	2,996
前期損益修正損	11,291	—
減損損失	6,078	17,294
早期割増退職金	—	25,966
特別損失合計	56,761	46,312
税金等調整前四半期純利益	54,941	105,134
法人税、住民税及び事業税	4,359	3,908
過年度法人税等	△3,340	—
法人税等調整額	27,616	△701
法人税等合計	28,636	3,206
四半期純利益	26,305	101,928



## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	1,508,411	1,217,475
売上原価	1,198,070	791,120
売上総利益	310,340	426,355
販売費及び一般管理費	269,589	245,036
営業利益	40,751	181,318
営業外収益		
受取利息	545	615
受取配当金	146	93
有価証券評価益	—	2,228
受取賃貸料	25,328	308
助成金収入	—	7,675
雑収入	8,011	4,518
営業外収益合計	34,030	15,439
営業外費用		
支払利息	10,073	10,563
有価証券評価損	5,113	—
賃貸収入原価	3,272	186
コミットメントフィー	10,000	—
雑損失	3,546	3,354
営業外費用合計	32,006	14,104
経常利益	42,776	182,652
特別利益		
貸倒引当金戻入額	200	23
特別利益合計	200	23
特別損失		
固定資産除却損	9,937	39
投資有価証券評価損	6,251	2,996
前期損益修正損	11,291	—
減損損失	6,078	17,294
特別損失合計	33,559	20,331
税金等調整前四半期純利益	9,417	162,345
法人税、住民税及び事業税	△440	3,403
法人税等調整額	10,210	△2,760
法人税等合計	9,770	642
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△353	161,702

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	54,941	105,134
減価償却費	119,795	124,713
のれん償却額	—	908
減損損失	6,078	17,294
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△314
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△2,000	△3,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,071	—
受取利息及び受取配当金	△1,462	△1,385
受取賃貸料	△50,656	△617
支払利息	20,903	21,970
為替差損益 (△は益)	984	△52
固定資産除却損	9,937	55
有価証券評価損益 (△は益)	23,070	△2,011
投資有価証券評価損益 (△は益)	7,618	2,996
前期損益修正損益 (△は益)	11,291	—
売上債権の増減額 (△は増加)	451,481	38,355
たな卸資産の増減額 (△は増加)	170,209	61,557
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,063	48,971
保険戻金	—	△5,206
その他	△214,731	39,957
小計	565,327	449,329
利息及び配当金の受取額	1,119	1,109
利息の支払額	△22,701	△22,253
法人税等の支払額	△83,232	△1,282
法人税等の還付額	—	71,766
営業活動によるキャッシュ・フロー	460,513	498,669
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△10,836	△810
有形固定資産の取得による支出	△251,262	△18,084
有形固定資産の売却による収入	17,980	—
無形固定資産の取得による支出	△2,098	△775
定期預金の預入による支出	△6,168	△6,178
定期預金の払戻による収入	—	50,500
保険積立金の解約による収入	—	12,330
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,588
その他	49,798	△2,165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△202,587	31,227
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,000	△165,452
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△239,512	△290,356
社債の償還による支出	△98,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△112	△155
配当金の支払額	△65,003	△16,378
その他	△11,025	△1,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,652	△423,367

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△984	52
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	153,289	106,582
現金及び現金同等物の期首残高	358,159	645,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	511,448	751,760

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成していません。

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	254,660	39,920	10,732	305,312
II 連結売上高(千円)	—	—	—	1,934,008
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.2	2.1	0.5	15.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1)アジア : 韓国、中国、台湾

(2)ヨーロッパ : ロシア

(3)その他の地域 : アメリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(生産実績)

区分	期別 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)		期別 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	1,776,568	70.6	1,090,140	57.7	61.4
メジャリングシステム	433,092	17.2	442,709	23.4	102.2
テスト&ソリューションサービス	308,160	12.2	357,969	18.9	116.2
計	2,517,821	100.0	1,890,820	100.0	75.1

(受注高実績)

区分	期別 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)		期別 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	832,141	52.9	1,375,483	63.3	165.3
メジャリングシステム	441,162	28.0	417,762	19.2	94.7
テスト&ソリューションサービス	299,927	19.1	378,856	17.5	126.3
計	1,573,231	100.0	2,172,103	100.0	138.1

(受注残実績)

区分	期別 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)		期別 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	476,264	81.7	693,186	85.2	145.5
メジャリングシステム	92,454	15.9	75,042	9.2	81.2
テスト&ソリューションサービス	14,234	2.4	45,712	5.6	321.1
計	582,953	100.0	813,941	100.0	139.6

(販売実績)

区分	期別 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)		期別 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	2,010,681	73.0	1,148,621	59.3	57.1
メジャリングシステム	438,141	15.9	430,341	22.3	98.2
テスト&ソリューションサービス	307,161	11.1	355,046	18.4	115.6
計	2,755,985	100.0	1,934,008	100.0	70.2